

北里大学学生 各位

新型コロナウイルス感染症の対応について(通知)【第34報】 学生対象

2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症が、感染症法上の5類感染症に変更されたことに伴い、今後の対応については下記のとおりとしますので、本通知内容を改めて確認してください。

5類感染症に変更されても、新型コロナウイルスそのものはなくなり、感染する可能性はこれまでと同様に高まっています。したがって、手洗い、咳エチケット、場に応じたマスク着用、換気などの日常の感染対策をしてください。

また、発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合には、無理して登校せず、自宅で休養してください。なお、「新型コロナウイルス感染症感染対策の手引き」は本報を以って廃止とします。

記

1. 健康管理について

- ・可能な限り、密閉・密集・密接を避けて行動しましょう。
- ・日頃から手指衛生（手洗い）を徹底してください。
- ・公共交通機関や医療機関・高齢者施設等を訪問する際、また、スクールバスを利用する際は、マスク着用を強く推奨します。
- ・臨床実習等*におけるマスク着用等感染症対策については、実習施設のルールに従うこととします。
* 医療施設・外部機関での実習、教育実習、介護実習、保育園等での実習等
- ・発熱（普段の体温より高い場合）や咳・咽頭痛・下痢などの風邪症状がある場合は、自宅待機とし、所属学部や研究科の事務室学生課に連絡してください。

2. 新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合

- ・新型コロナウイルス感染症の感染が判明した場合、登校せず、所属学部等事務室学生課に連絡してください。
- ・**出席停止期間：発症した後（発症日を0日とし）5日を経過し、かつ、症状が軽快※した後（症状が軽快した日を0日とし）1日を経過するまで**
※「症状が軽快」とは：解熱剤を使用せずに解熱し、かつ呼吸器症状が改善傾向にあること
無症状の感染者は、検体採取日を0日とし、5日を経過するまで
- ・登校再開時は、所属学部等事務室学生課に連絡し登校再開日について確認してください。
- ・出席停止解除後、発症から10日を経過するまでは、マスクの着用を求めます。
- ・医療機関等の実習の再開については、実習先の指示に従ってください。

3. 同居者が新型コロナウイルス感染症と特定された場合

- ・濃厚接触者としての特定は行われないうこととなり、これまで濃厚接触者として特定されていた者についても、行動制限及びその協力要請は行われないうこと等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症の感染が確認されていない者については、直ちに出席停止の対象としません。
- ・発熱や咽頭痛、咳等の自覚症状がある場合は、「4. 発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合」のとおり対応してください。

4. 発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合

- ・新型コロナウイルス感染症に限らず、発熱や咽頭痛、咳等の普段と異なる症状がある場合には、所属学部等事務室学生課に連絡した上で登校を控え、自宅で休養してください。
- ・高熱がある場合や症状が2日以上持続する場合、医療機関の受診を推奨します。

5. 自宅待機後の登校の目安

- ・発熱や咽頭痛、咳などの症状が改善した後登校再開となります。
発熱した場合、解熱剤を使用せず解熱が確認できた日の翌日より登校可。
咽頭痛や咳の症状がある場合、症状が軽快した日の翌日より登校可。
- ・登校前に各キャンパスの保健室に連絡し、登校について確認をしてください。
- ・症状が消失するまでは、マスクの着用を求めます。
- ・臨床実習等*の実習の再開については、実習先の指示に従ってください。
* 医療施設・外部機関での実習、教育実習、介護実習、保育園等での実習等

6. 会食について

会食により感染する可能性が高いことはこれまでと変わらないため、感染対策を意識して、節度をもって参加してください。また、体調不良時は会食には参加しないでください。

7. 課外活動等について

- ・大会等に参加する場合は、主催者側の感染対策を遵守してください。
- ・インターン及びボランティア活動は、実施機関等の感染対策に従って実施してください。

8. 感染リスクが高まる「5つの場面」について

感染リスクが高まる「5つの場面」を作らず、学生一人一人が自覚を持ち行動してください。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



■内閣官房 HP

<https://corona.go.jp/>

【本件に関する連絡先】

○教学センター 042-778-7935、9031

または各学部等事務室

○課外活動に関すること

・体育会及び文化会：教学センター学生課

042-778-9748、9323、9031

・各学部北里会：各学部等事務室

以上